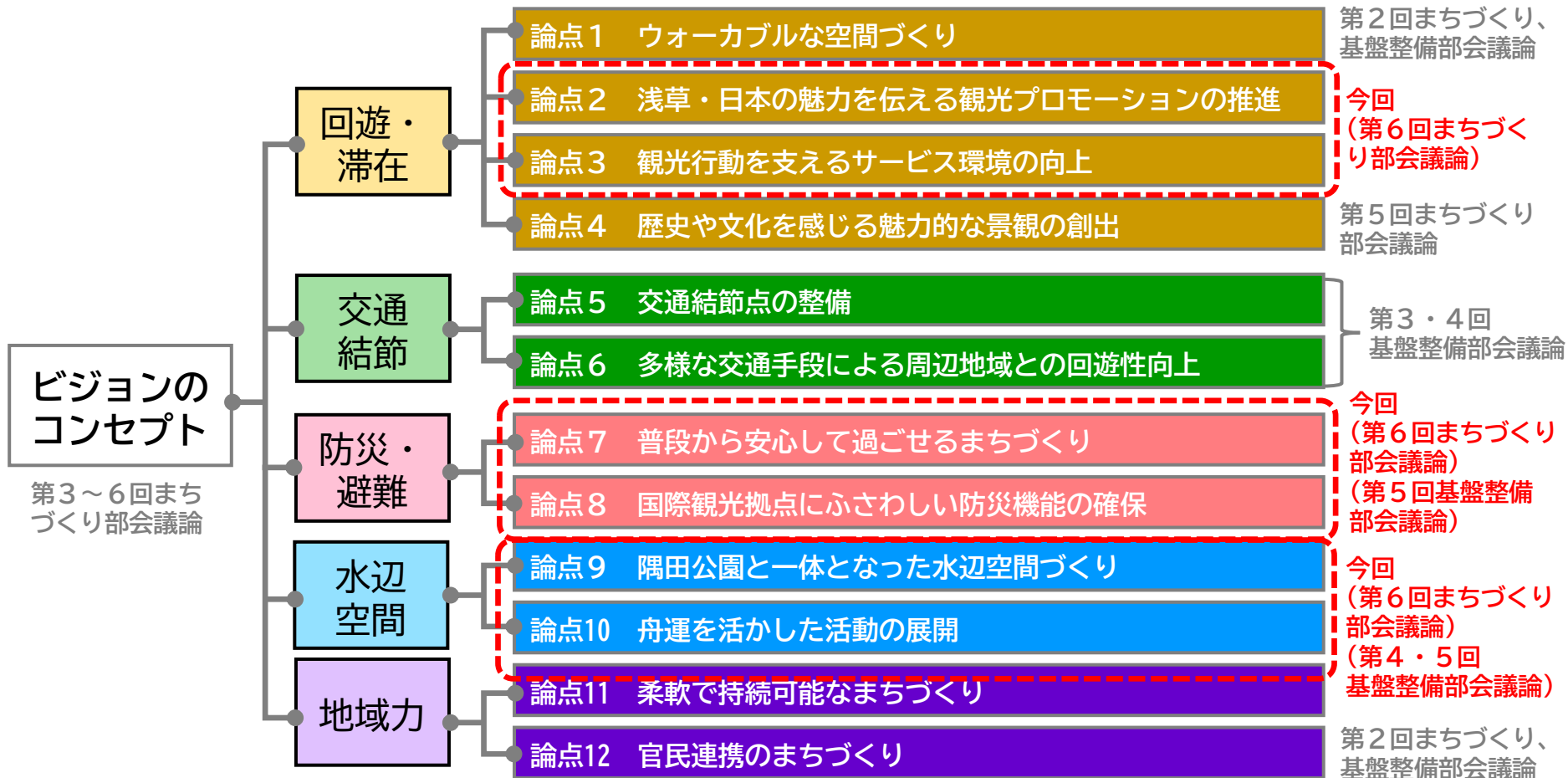


## 前回部会の概要

前回部会では、「観光」「防災・避難」「水辺空間」に関する取組みの方向性等について、意見交換を行った。



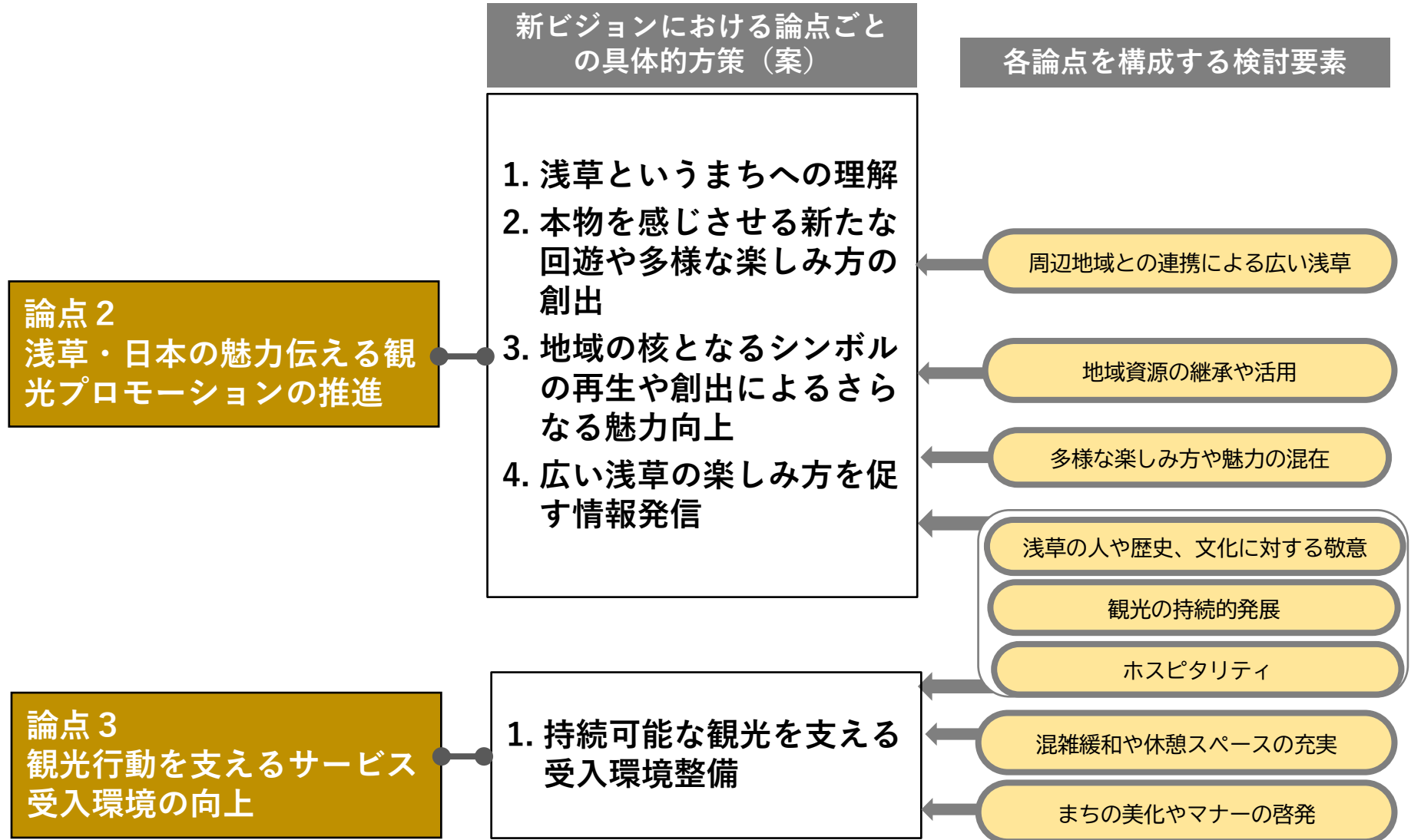


## 論点2・3 観光について

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（観光の取組みの方向性）

取組みの方向性について、下記のとおり体系図を示す。



# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（観光の取組みの方向性）

### 【具体的方策（案）】

#### 1. 浅草というまちへの理解 拡充 (※)

近年、浅草地区では、長年営んできた老舗が減り、ナショナルチェーンの店舗が増えるなど、商店街をはじめとしたまちなみに変化が生じている。また、コロナ禍を経て、急激に来街者数が回復するなど、大きな変化を迎えている。

今後も増加が見込まれる国内外からの来街者に対し、来街者が自らの意識や行動に責任をもち、地元の人々やまちに思いやりの心をもって観光を楽しむことができるように、地域で連携しながら良好な観光地の形成に取り組んでいく。



これまでの取組み（浅草での観光マナー啓発キャンペーン）

#### これまでの議論に参考にした取組み例

- ・ 地域が大切にしたい「浅草らしさ」に関する情報発信
- ・ 浅草の暮らしや営みに対する配慮事項の事前周知
- ・ 来街者や新規出店者・事業者へのマナー啓発
- ・ ボランティアガイドのレベルアップ・有償化

#### 観光

##### 浅草らしさ

- |  |  |   |   |   |
|--|--|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 来訪者の求める「らしさ」の追求が必要</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● かつてあったエンタメ機能・要素の復活</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● きれいな・なりすぎないまち</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 時代の最先端の導入</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ひとつにまとまらない幅広い魅力</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 暮らしや営みの感じられるまち</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 普段からワクワク（イベントがなくとも魅力的）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 水辺の盛り場</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 景観の保全</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● すぐれた食文化</li> </ul>         |

##### 守るべきもの

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の歴史や伝統</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昔から続くイベント</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の人を楽しめる店舗</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● ほのかに残る江戸・明治・大正の時代感、営み</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の暮らしや営み</li> <li>● 来街者のマナー啓発ルール作り</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史的なストーリー</li> </ul>   |

浅草のまちの要素<20年後の将来>「浅草らしさ」「守るべきもの」に関する主なご意見  
(第3回策定委員会資料抜粋)

(※) 現状の取組み状況と比較した表現

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（観光の取組みの方向性）

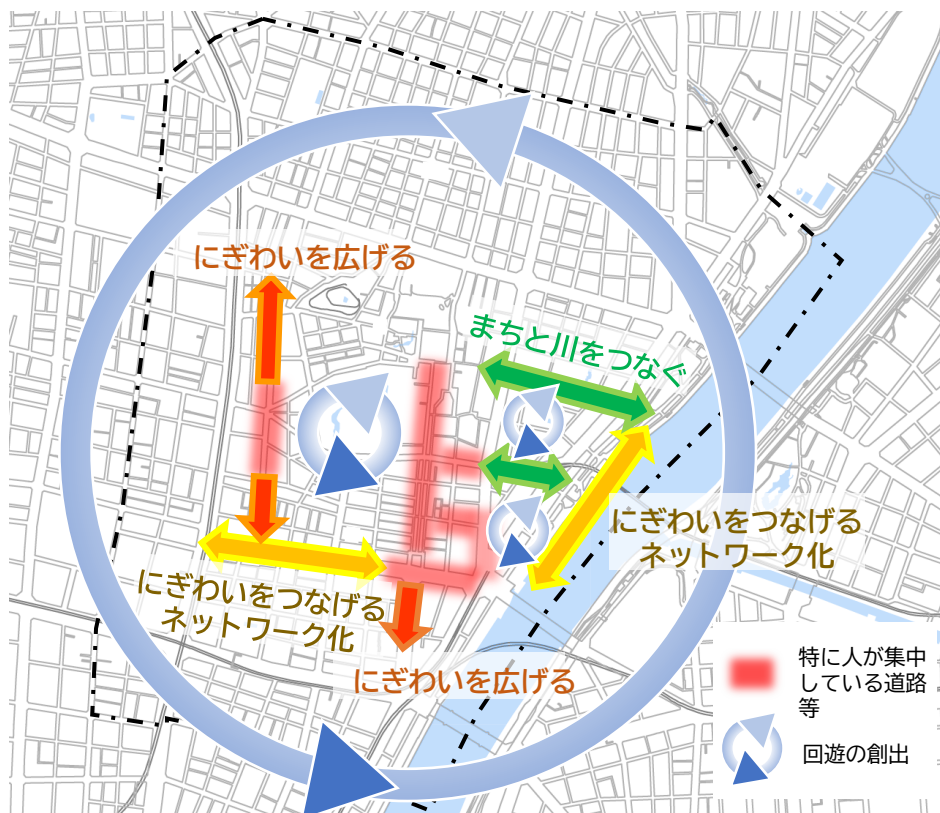
### 【具体的方策（案）】

#### 2. 本物を感じさせる新たな回遊や多様な楽しみ方の創出

拡充

文化資源の保存と観光活用の創出等を通じて、地域の資源をつなぎ、本物を感じさせる新たな回遊を生み出していく。

また、浅草の人とのつながりを楽しむ滞在等、多様な浅草の楽しみ方を創出していく。



新たな回遊創出の概念イメージ（第3回策定委員会資料抜粋）

#### これまでの議論で参考にした 回遊創出のイメージ例

- ・浅草寺一带の地区中心部や地区北側と、隅田川の水辺空間とのつながり
- ・花柳界や飲食店が軒を連ねる地区北側（観音裏）とのつながり
- ・六区ブロードウェイ周辺の地区西側とのつながり
- ・各商店街の連携による回遊の広がり

#### これまでの議論で参考にした 多様な浅草の楽しみ方の例

- ・エリアの特性を踏まえた、朝や夜間における観光の充実（来街者の時間的分散）
- ・来街者のニーズに応じた高付加価値なサービス等を提供する機会の創出
- ・きれいになりすぎない楽しみ方

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（観光の取組みの方向性）

### 【具体的方策（案）】

#### 3. 地域の核となるシンボルの再生や創出によるさらなる魅力向上 新規

文化資源の保存と観光活用の創出等を通じて、地域の資源をつなぎ、本物を感じさせる新たな回遊を生み出していく。

また、浅草の人とのつながりを楽しむ滞在等、多様な浅草の楽しみ方を創出していく。

#### 4. 広い浅草の楽しみ方を促す情報発信 拡充

浅草寺一帯の中心部と周辺地域がつながる広がりある浅草の楽しみ方や回遊方法について、情報発信を行う。

#### これまでの議論で参考にした 地域シンボルの再生や創出の例

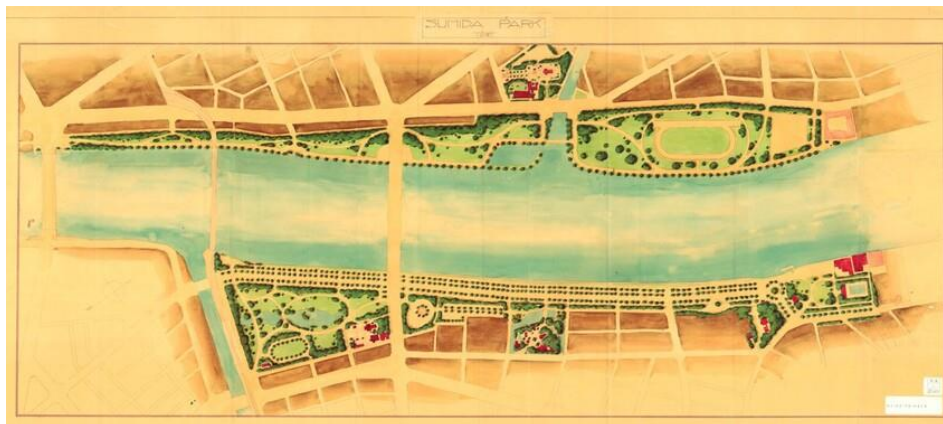
##### <取組み例>

- ・かつてあったエンターテインメント機能・要素の復活
- ・若い世代に地域の歴史を継承していく取組みの推進（芸人の育成など）
- ・歴史を物語る象徴的な建造物等の復元・修復

##### <地区別例>

- ・六区地区興行街の再活性化
- ・観音裏の花柳界文化の保存・育成
- ・隅田公園における原風景の演出

【資料】隅田公園全体平面図（上：台東区側）



隅田公園は、都内に3箇所ある復興大公園のうちの一つ。開設当初、川岸には枝垂れ柳の並木を配置し、吾妻橋から山谷堀までは芝生疎林式の明るい庭園であって、散策のための場所となっていた。

（出典：台東区ホームページ（資料提供：（公財）東京都公園協会））

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（観光の取組みの方向性）

### 【具体的方策（案）】

#### 5. 持続可能な観光を支える受入環境整備

拡充

生活者と来街者が共存しながら、ホスピタリティの心をもって来街者を受け入れられるように、来街者の受入環境整備を進める。



利便性に配慮し、パウダースペース、スーツケース置き場を設置した観光客用トイレ（出典：大阪府HP）

#### これまでの議論で参考にした 来街者の受入環境 対策例

- 混雑緩和対策の推進
- 地域の特性に応じた道路空間の形成
- 休憩スペースの充実
- トイレ環境の充実・向上
- まちの美化（ごみ・喫煙所）の推進
- 来街者の回遊を促す観光バスの運用
- その他地区内に不足する都市基盤の充実



まちなかで座って休憩等に活用できる場所の例



# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 2 観光に関する主なご意見

### ■具体的方策（案）について

#### 2. 本物を感じさせる新たな回遊や多様な楽しみ方の創出

- 第1目的によって回遊エリアが決定される。“人の動き”は観光まちづくりを考えるうえで大事。人の流れを意識した、回遊性の促進策みたいなものを検討されると良いのではないか。また施策を展開していく際に、そういった考え方でやるのが大事なのだと記載した方が良い。
- スマートフォンがあると目的地に対するこだわりが強くなり、沿道に対する意識が弱くなる。外国人観光客もスマートフォンを使用して情報収集をしている。スマートフォンが与える影響も重要な要素である。今後、具体化していくときにデータベースでやるのが大事なのだと記載した方が良い。
- 各エリアにフィーチャーするのか、浅草を広く捉えて全体のPRをするのか、それによってまちの概念図も変わるだろう。

#### 3. 地域の核となるシンボルの再生や創出によるさらなる魅力向上

- 雷門は、場所も重要である。聖と俗の接点となる場所にある。浅草、日本のランドマークとして重要なものである。

#### 5. 持続可能な観光を支える受入環境整備

- 公共トイレは、足りないのではなく、知られていないだけではないか。また、トイレの数があってもその質や、浅草文化観光センターや浅草寺のトイレに依存していることなど、環境改善は必要である。今後、具体化していくときにデータベースでやるのが大事なのだと記載した方が良い。

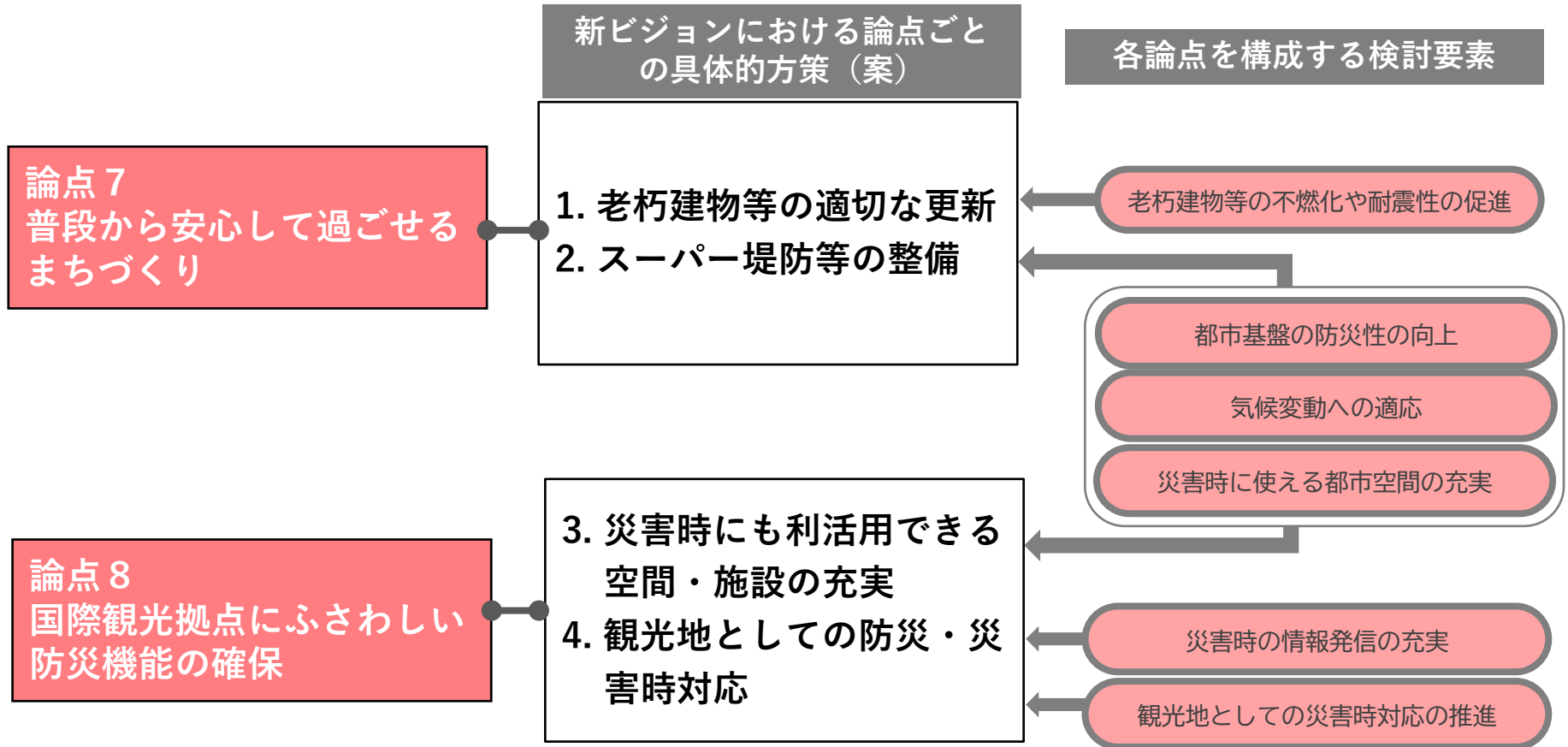


## 論点7・8 防災・避難について

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（防災・避難の取組みの方向性）

取組みの方向性について、下記のとおり体系図を示す。



# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（防災・避難の取組みの方向性）

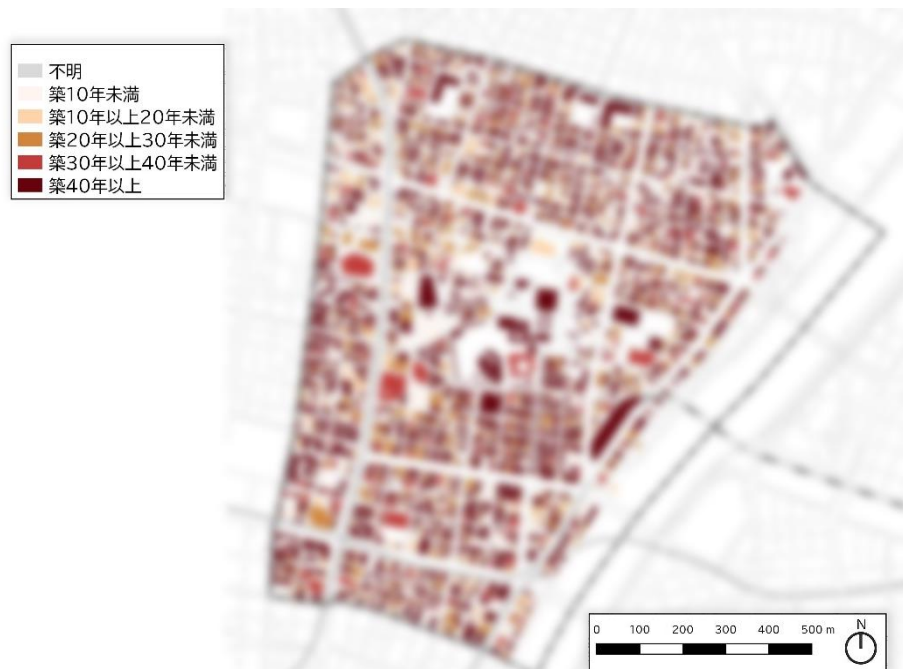
### 【具体的方策（案）】

拡充 (※)

### 1. 老朽建物等の適切な更新等

地区内には、築40年以上の建物が約6割近くとなっており、今後建物更新が進むことが想定される。防災性向上の観点から不燃化を促進するとともに、地域特性を踏まえた適切な建替えができる環境を整える。

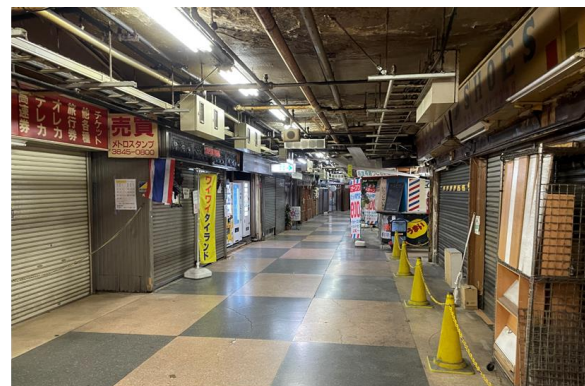
また、特定緊急輸送路である江戸通りや、浅草駅に接続する馬道通りの安全性を維持するために、地下街の安全性を確保していく。地下街を含む地区内の地下空間ネットワークの充実に際しては、住民だけでなく来街者も避難できる有事等に備えた避難施設としての機能を有する空間を整備する。



築年数40年以上が過半を占める地区内の現状  
(出典：東京都土地利用現況調査（令和3年度）より作成)

### 取組み例

- ・建物の更新時に対応できる地域に応じた建替えルール（地区計画等）の検討
- ・老朽化する観光施設等の適切な更新の検討



開業から70年近くが経過する地下街

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（防災・避難の取組みの方向性）

### 【具体的方策（案）】

### 2. スーパー堤防等の整備

浅草地域では新規

隅田川沿いについて、大規模な地震に対する安全性を高め、水辺環境の向上を図るため、スーパー堤防（または緩傾斜型堤防）を整備する。

整備にあたっては、川沿いの隅田公園が避難場所として位置づけられていることを踏まえ、スーパー堤防等の整備と一体的な開発と合わせて、地区内で避難等に利活用できる空間を拡充していくことも検討する。



スーパー堤防の構造（出典：東京都ホームページ）



緩傾斜型堤防の構造（出典：東京都ホームページ）

※参考 避難場所（隅田公園一帯）概要  
（台東区地域防災計画抜粋）

避難場所番号 避難場所	台東区 町丁数	有効面積 (総面積)	避難計画 人口	1人当り 面積	避難 距離
166 隅田公園一帯	26	79,068㎡ (101,988㎡)	50,166人 (台東のみ)	1.58㎡	1.3km
	寿 3,4 駒形 1,2 雷門 1,2 花川戸 1,2 浅草 1,6,7と2,3,4,5 04-部 千束 40-部 東浅草 1,2 日本堤 1と2の部 今戸 1,2 清川 1,2 橋場 1,2				

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（防災・避難の取組みの方向性）

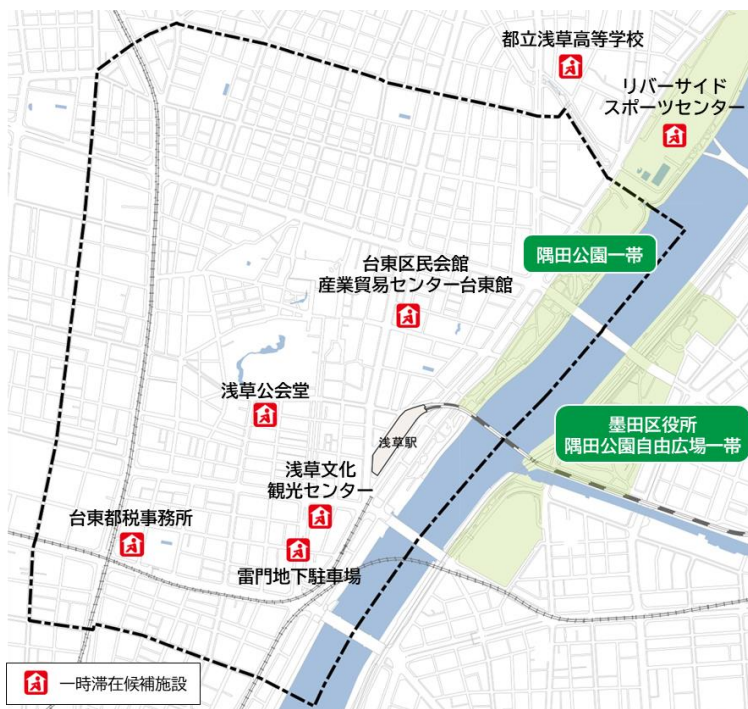
### 【具体的方策（案）】

#### 3. 災害時にも利活用できる空間・施設の充実

拡充

浅草地区には、災害時にも利活用できる都市空間が不足しているため、災害時に時系列的かつ多目的に使えるオープンスペース等の空間や一時滞在施設の拡充を推進する。あわせて、帰宅困難者等が多く生じることが見込まれることから、災害時に使用できるトイレ等衛生機能の確保や環境の充実・向上を図る。

また、災害時の円滑な避難行動や滞留空間を確保するために、特に混雑が見られる浅草駅周辺の通りを中心に、歩行者等の安全性を向上させる。



(参考) 現時点において来街者の避難等が利用が想定される空間

#### 災害時にも利活用できる空間や施設の整備例

- スーパー堤防等の整備との一体的な開発に合わせたオープンスペースや一時滞在施設の整備
- まちと水辺をつなぐデッキ等の空間整備
- 地下空間ネットワークの整備
- 雷門通り、馬道通り、並木通り等の歩行者空間の拡充
- 避難場所である隅田公園一帯につながる東参道・二天門通り等の道路における隅田公園一帯への空間的な視認性の向上

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（防災・避難の取組みの方向性）

### 【具体的方策（案）】

### 3. 災害時にも利活用できる空間・施設の充実

拡充

#### ■「気候変動×防災」～気候変動対策と防災・減災対策を効果的に連携し、災害リスクの低減を図る～

空間や施設の充実にあたっては、気候変動を踏まえ、集中豪雨やヒートアイランド現象など災害リスクの低減等を図る機能を導入し、安全かつ快適な都市空間を創出していく。

### 取組み例

#### ■グリーンインフラの活用

公園や広場におけるグリーンインフラとしての機能を高めるため、施設の新設・更新の機会に、透水性舗装への改良や貯留浸透碎石層への置き換え等により、保水・浸透機能の向上を図る。

【泥亀公園(金沢区)】



出典：横浜市ホームページ

#### ■クールスポットの創出と活用促進

ヒートアイランド現象に対し、野外空間におけるクールスポットの創出・活用促進を行い、夏季日中の暑熱環境の改善を図る。

### 【活用促進事例】



出典：大阪府ホームページ



# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（防災・避難の取組みの方向性）

### 【具体的方策（案）】

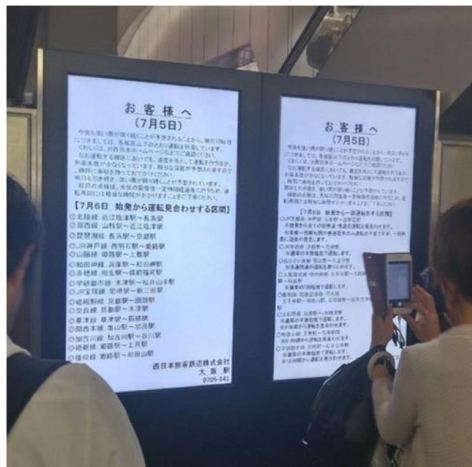
#### 4. 観光地としての防災・災害時対応

拡充

地域住民だけでなく外国人も含めた来街者に対しても、防災・災害時の情報の普及を推進する。また、地域や事業者、行政が連携して、観光地としての防災・災害時対応を推進し、被害の最小化や避難行動などの円滑化を進める。



防災アプリ「台東防災」



デジタルサイネージを活用した多言語の災害情報の発信の例（西日本旅客鉄道株式会社）



浅草地域帰宅困難者及び外国人対応訓練の様子

### 取組み例

#### ・災害時の情報発信の充実

→多言語対応機能の強化  
→地域や事業者と連携した、広域的な災害情報が発信できる場の設置 等

#### ・地域、事業者、行政間における観光防災に関する認識共有・体制の構築

→来街者に対応する防災訓練の継続的な実施（帰宅困難者対応訓練等）  
→地区内での開発や基盤整備に合わせた来街者に対する防災備蓄等の備えの充実  
→防災船着場の活用促進のための機能強化 等

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 2 防災・避難に関する主なご意見

### ■ビジョンにおける表現・まとめ方について

- 「未来型」「浅草の固有性」を見据えて、ビジョンの内容を深める必要がある。
- 「浅草の固有性」については、①国際観光都市であること②老朽建物の建て替えがさらに進む可能性があることである。①については、災害時にホテルに帰ることができない“帰ホテル困難者”が大勢発生する可能性があることや外国人が多いという状況を重視すべきである。②については、まちが変わることをチャンスと捉えて、いろいろな仕掛けをしていくなど、考えを深めていく必要がある。
- 建物の更新やスーパー堤防の整備など、まち全体として、段階的にどのように強化されていくのがビジョンで表現できると良い。

### ■防災に関する検討について

- どんな人がどのくらいいるのか、数量的イメージを持つことが重要である。
- 観光サイドやビジター側の意見など、浅草の来街者側の状況も把握した方がよい。
- 浅草の大事な資源をどうやって守っていくか、それが被害を受けたときにどうやって戻していくか、少し検討が必要と思う。
- 最大どれぐらいの帰宅困難者がいて、それに対してどの程度施設が確保できているのか。
- 災害時に使える施設としてデッキ空間や地下空間ネットワーク整備を挙げられているが、地区の課題を解決するために、シミュレーション等を行ったのか。それとも今後行うのか。
- 悪天候条件下（非常に暑い、寒い等）も考慮して、検討していく必要がある。

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 2 防災・避難に関する主なご意見

### ■具体的方策（案）について

#### 3. 災害時にも利活用できる空間・施設の充実

- ・来街者の数に見合うような一定のオープンスペースを整備し確保していくことが非常に重要である。災害直後は、とりあえず安心できる空間がオープンスペースだと思う。
- ・浅草の特徴であるアーケード等、歩道上に屋根がある空間がたくさんある。そこを災害時の滞留空間として位置づけしていくことは、災害時に使える滞留空間のためのアイデアの一つとしてよいのではないか。

#### 4. 観光地としての防災・災害時対応

- ・国際観光都市として、災害時のおもてなしをしないといけない。災害時のおもてなしをしてよかった、浅草で被災して本当によかったというような状況を目指していくことも大事である。
- ・災害は、どんな状況になるか、予測はしているものの不確実性が含まれている。何が起こるかわからない状況を踏まえて、一見無駄な空間だが何か起きた時に使えるような、ゆとりある空間が必要であり、日常においてうまく作りこめるといい。例えば地下街はそういう扱いになるかもしれない。
- ・水上バス企業と防災協定を締結するなど、防災船着場と水上バスを利用した水上交通での避難を検討してほしい。
- ・商店街で地震対応マニュアルを作成した。自助・共助の思いで実施しているが、区としての取組みも検討してほしい。

### ■まちの変化について

- ・20年後は外国人労働者も増え、災害時に会話やコミュニケーションが問題となるだろう。

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## (参考) 浅草地区で想定される各災害時における避難行動

### 地域住民に対する想定

	大地震時	水害時（荒川水害）	水害時（内水氾濫）
通常時 (発災前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・災害情報に関する事前周知</li> </ul>		
災害時 (発災後)	<p>一時集合場所に集合 ⇒</p> <p>【自宅が安全な場合】 →家に帰る</p> <p>【自宅が危険な場合】 →避難所（浅草小学校、田原小学校、富士小学校、千束小学校等）や避難場所（隅田公園一帯）へ避難</p> <p>→自宅で生活できない場合は、区が指定する避難所へ避難</p>	<p>【避難情報発令時】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでいる場所が浸水想定（浅草地区はほぼ浸水想定）</li> <li>→浸水想定区域外（上野公園以西）へ避難</li> </ul>	<p>【避難情報発令時】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでいる場所が浸水想定</li> <li>→自宅が2階以上の場合は、在宅避難</li> <li>→自宅が1階の場合は、緊急危険場所（浅草小学校、田原小学校、千束小学校等）へ避難</li> <li>・住んでいる場所が浸水想定外</li> <li>→原則、避難の必要なし</li> </ul>

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 来街者（帰宅困難者（※））に対する想定

	大地震時	水害時（荒川水害）	水害時（内水氾濫）
通常時 (発災前)	・防災・災害情報に関する事前周知		
災害時 (発災後)	<p>【施設内で被災】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むやみに移動しない（原則72時間）</li> <li>&lt;建物が安全な場合&gt;</li> <li>→待機</li> <li>&lt;建物が危険な場合&gt;</li> <li>→避難場所（隅田公園一帯）へ移動</li> <li>→一時滞在施設が順次開設後、一時滞在施設へ移動</li> <li>⇒状況が落ち着いたら帰宅</li> </ul> <p>【施設外で被災】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→避難場所（隅田公園一帯）へ移動</li> <li>→一時滞在施設が順次開設後、一時滞在施設へ移動</li> <li>⇒状況が落ち着いたら帰宅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→大雨等の事前周知により、滞在施設等での待機を要請</li> </ul> <p>【避難情報発令時】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浅草地区内に滞在している場合</li> <li>→浸水想定区域外（上野公園以西）へ避難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→大雨等の事前周知により、滞在施設等での待機を要請</li> </ul> <p>【避難情報発令時】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在場所が浸水想定</li> <li>→2階以上の場合は、垂直避難</li> <li>→1階の場合は、緊急滞在施設（帰宅困難者等受入施設（台東区民会館））へ避難</li> </ul>

### （※）帰宅困難者

災害時に外出している者のうち、近距離徒歩帰宅者（近距離を徒歩で帰宅する人）を除いた帰宅断念者（自宅が遠距離にあること等により帰宅できない人）と遠距離徒歩帰宅者（遠距離を徒歩で帰宅する人）

※ただし、帰宅までの距離が10km以内の人は「帰宅可能」とする

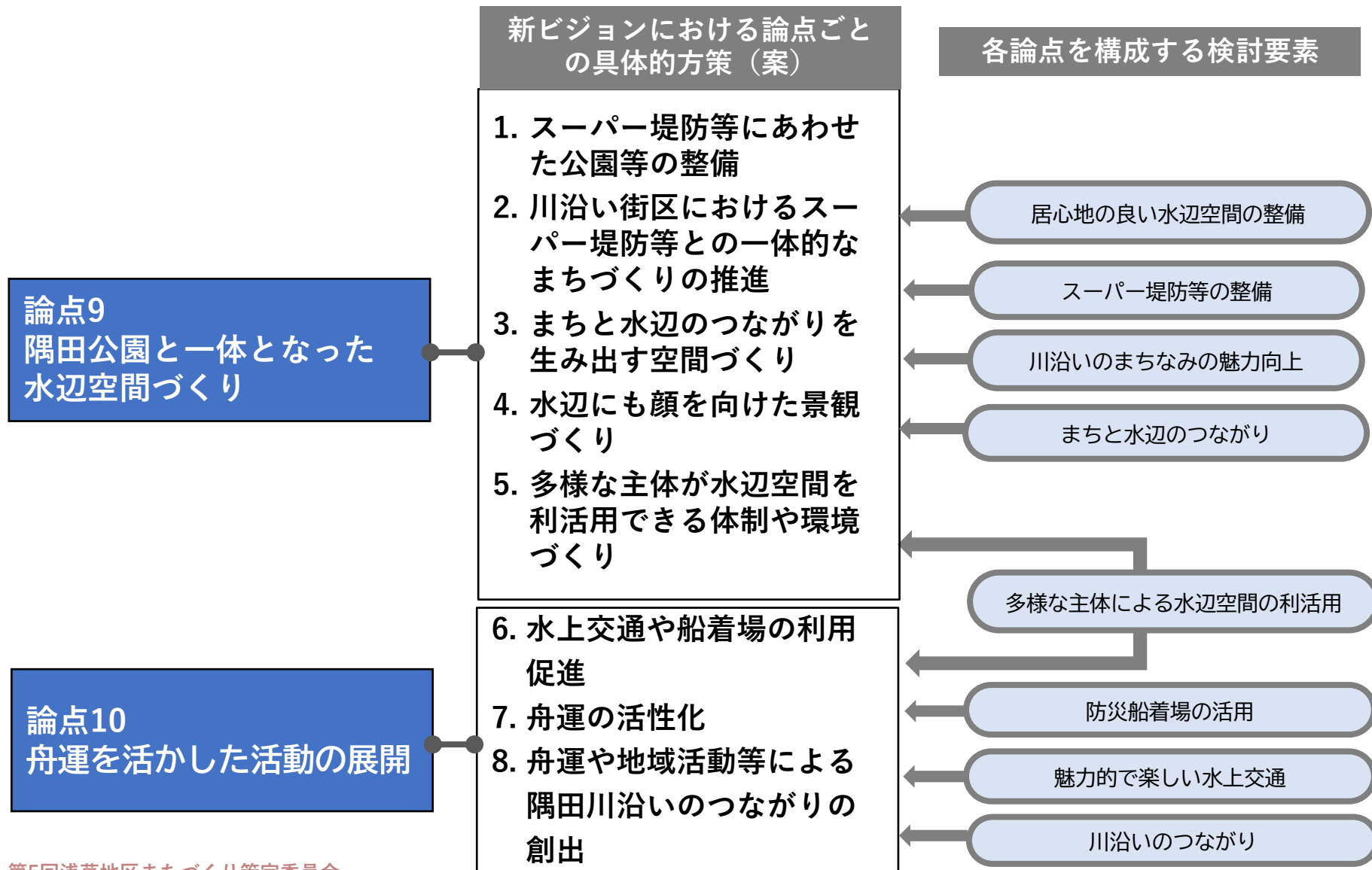


## 論点9・10 水辺空間について

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（水辺空間の取組みの方向性）

取組みの方向性について、下記のとおり体系図を示す。





# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（水辺空間の取組みの方向性）

### 【具体的方策（案）】

#### 1. スーパー堤防等にあわせた公園等の整備

スーパー堤防にあわせた公園整備により、親しみのもてる居心地の良い水辺空間が整備され、墨田区側との人の往来が活発になっている。

また、隅田川テラスの再修景等を行い、ウォークラブルな水辺空間を創出していく。

新規 (※)



スーパー堤防の整備例（千住大橋）



川と街の間に壁がなく、堤内に駐車場等が整備されている堤防例（ドイツ北部エルベ川河口）



緩傾斜の堤防敷地を活用している事例  
(出典：かわまちづくりホームページ、国土交通省)



水辺の広がりを活かした憩いの場所づくりの例（富山市）

(※) 現状の取組み状況と比較した表現

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（水辺空間の取組みの方向性）

### 【具体的方策（案）】

### 2. 川沿い街区におけるスーパー堤防等との一体的なまちづくりの推進

新規

隅田川沿いの街区周辺では、スーパー堤防等の整備と一体的な開発を検討していく。これらのまちづくりを進めていく上で、災害時の避難空間の確保等、地域課題を解決するための機能向上を検討する。また、まち側と川の間位置する江戸通りについては、通りの横断手段を検討する。

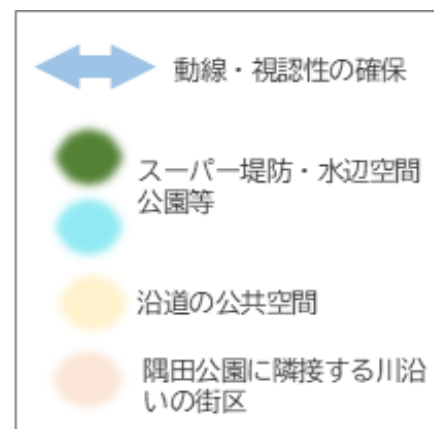
### 3. まちと水辺のつながりを生み出す空間づくり

拡充

下図の矢印で示す区間において、空間の再編や緑のつながりによる歩行者空間の整備により、まちと水辺の視認性を向上し、人の往来を促進していく。特に、東参道・二天門通りについては、ウォークブル推進等と合わせて、まちと水辺のつながりの強化や沿道の公共空間との一体的な活用を進めていく。



水辺空間づくりを重点的に進めるエリア



# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（水辺空間の取組みの方向性）

### 【具体的方策（案）】

#### 4. 水辺にも顔を向けた景観づくり

拡充

川沿いの街区の建替えにあわせ、水辺とのつながりを意識した隅田川に配慮した景観や、水辺からまちへのつながりを生み出す良好な景観を形成していく。



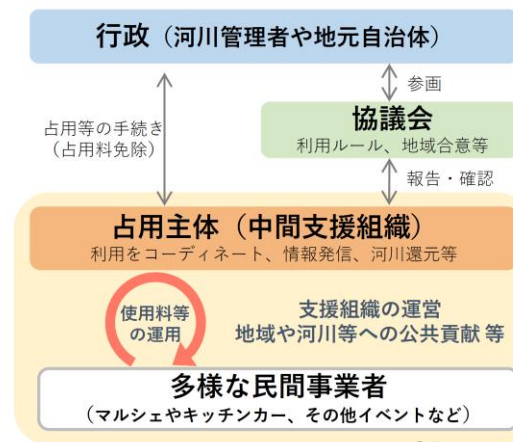
水辺にも顔を向けた景観づくりの例（両国リバーセンター）  
（出典：東京都建設局ホームページ、両国リバーセンタープロジェクトパンフレット）

水辺との一体性に配慮した屋外空間の演出例（広島市）  
（出典：かわまちづくりホームページ、国土交通省）

#### 5. 多様な主体が水辺空間を利活用できる体制や環境づくり

拡充

地域や事業者等、多様な主体が水辺空間を利活用できる体制や環境を創出する。



隅田川のテラス空間を活用したマルシェイベント  
（江東区）

中間支援組織によるイベント広場等の運用イメージ

（出典：隅田川等における未来に向けた水辺整備のあり方（東京都R5.6））

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

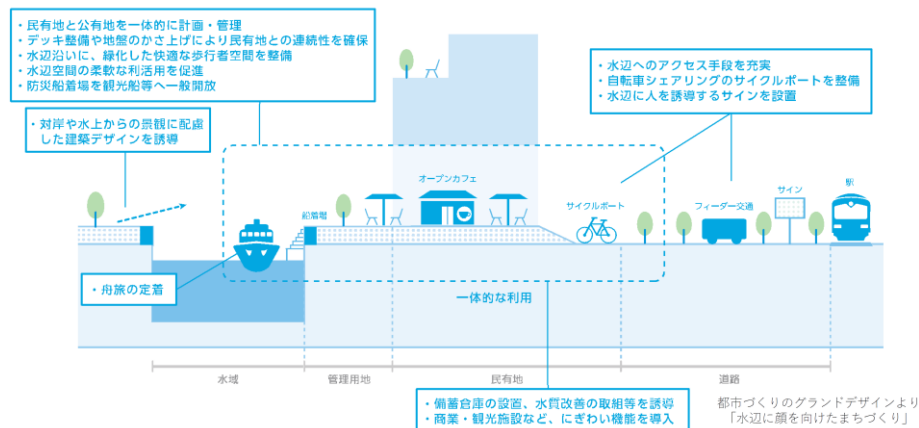
## 1 部会資料（水辺空間の取組みの方向性）

### 【具体的方策（案）】

#### 6. 水上交通や船着場の利用促進

拡充

水上交通や船着場の利用促進を図る。また、まち側から船着場へのアクセス向上を図る。



舟運と他施設の案内サインの事例

水辺の拠点における取組の連携  
(出典：隅田川等における未来に向けた水辺整備のあり方（東京都R5.6））

#### 7. 舟運の活性化

拡充

東京都と連携した舟運活性化の取組みを活性化していく。



築地地区の開発における舟運利便施設や築地川船着場のイメージ  
(出典：事業予定者の提案概要資料（東京都ホームページ）)

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 1 部会資料（水辺空間の取組みの方向性）

### 【具体的方策（案）】

#### 8. 舟運や地域活動等による隅田川沿いのつながりの創出

拡充

舟運や地域活動等による隅田川沿いのつながりを創出する。



隅田川サポーターと隅田川での活動について話し合う隅田川クルーズ（出典：隅田川等における未来に向けた水辺整備のあり方（東京都R5.6））



隅田川×文化・芸術：隅田川でのアート活動について関連団体が取組やアイデアを話し合う（出典：隅田川等における未来に向けた水辺整備のあり方（東京都R5.6））

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 2 水辺空間に関する主なご意見

### ■具体的方策（案）について

#### 1. スーパー堤防等にあわせた公園等の整備

- 水辺空間において、どのようなアクティビティがどの場所で、どういう風に展開されていくことが想定されるか、もう少し思い描く必要があるのではないかと思う。
- 日中の暑さも踏まえ、観光客の朝や夜の活動が増えてくるのではないかと思う。夜であれば、水辺の照明や夜間景観を意識し、安心して通れる空間づくりをしてほしい。

#### 2. 川沿い街区におけるスーパー堤防等との一体的なまちづくりの推進

- スーパー堤防整備にあわせて、隅田川沿いに有する既存の機能（特に駐輪場）をどうしていくのか、合わせて考えていかなければならない。
- スーパー堤防整備は、公園の整備のタイミングや、例えば建物の再開発を捉えて、行っていかなくてはならない。
- スーパー堤防整備の新たな形として、一部躯体構造を活用し、その下部空間を使えるような形の検討等も進めていけるよう、ビジョンに内容を反映してほしい。

#### 3. まちと水辺のつながりを生み出す空間づくり

- 東参道・二天門通りの先に防災船着場があり、軸として重要であるが、東参道には小学校も立地している。観光地としての側面だけでなく、住民の生活空間についての検討も必要ではないか。また、伝法院通りから東武浅草駅北口、助六通りへと至るルートは、ガード下は暗いが、動線は良いので、東参道・二天門通り以外にも活用できると良い。これらの内容は、水辺空間だけでなく、ウォークアブルにも反映してほしい。

# 第6回まちづくり部会および第5回基盤整備部会の検討状況

## 2 水辺空間に関する主なご意見

### ■具体的方策（案）について

#### 5. 多様な主体が水辺空間を利活用できる体制や環境づくり

- 水辺空間は国・都・区が管理しており、利用申請が大変である。民間が主体となって提案、行政に働きかけると良いだろう。

#### 6. 水上交通や船着場の利用促進

- スーパー堤防や周辺の建て替えを踏まえ、まちの魅力向上に合わせて水辺空間を検討し、船着場周囲も含めて魅力を高めていくことを考えるべきである。
- 船着場の整備を進めてほしい。

#### 7. 舟運の活性化

- 舟運の活性化について、起終点、乗り場とその周辺の魅力や経路上の景観も重要であり、全てが揃ってないと、総合的に成立しないと思う。東京で起きている舟運の活性化は、再開発における魅力向上の一つのツールであるケースが多い。

#### その他

- “水上空間”も資源なので、水辺空間と“水上空間”を一体化したような使い方を考えられると面白い。